

施策番号	1321		
施策名	京都のまちの特色に配慮した災害に強いまちづくり		
概要	都市空間や建築物，上下水道施設の防災対策や治山，治水対策を推進するとともに，防災水利構想に基づく事業の推進により，災害に強いまちづくりに取り組む。		
担当局	建設局	共管局	消防局・上下水道局・都市計画局
上位政策	132 災害に強く日々のくらしの場を安全にする		

施策の評価

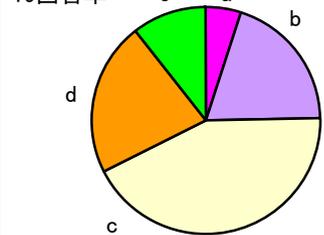
1 客観指標評価

	17年度	18年度	19年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 公共施設耐震診断実施件数（件）	a	a	14	5	5	100.0%	a
2 防火水槽及び防火井戸整備数（基）	a	a	15	16	15	106.7%	a
3 河川整備（％）	b	b	53.0	53.6	54.2	98.9%	b
4 木造住宅耐震診断士派遣事業に基づく派遣件数（件）	a	a	199	167	150	111.3%	a
5 （準）10年確率対応下水道雨水整備率（％）	b	c	8.8	11.9	13.9	85.6%	c
6 （準）緊急時における飲料水の確保日数（日）	a	a	84.9	87.5	87.5	100.0%	a
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	a	a	客観指標総合評価				a

2 市民生活実感評価

設問	建物の耐震対策や防火水槽の設置などにより，まち全体の防災機能は高くなってきている。					
回答	17		18		19	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	30	5.8%	25	4.8%	23	5.0%
b: どちらかというと思う	98	18.9%	122	23.4%	91	19.6%
c: どちらとも言えない	200	38.5%	216	41.5%	200	43.0%
d: どちらかというと思わない	126	24.3%	109	20.9%	102	21.9%
e: そう思わない	65	12.5%	49	9.4%	49	10.5%
有効回答数	519		521		465	
市民生活実感評価	C		C		C	

19回答率



- a: そう思う
- b: どちらかというと思う
- c: どちらとも言えない
- d: どちらかというと思わない
- e: そう思わない

* この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	17	18	19
客観指標総合評価	a	a	a
市民生活実感評価	c	c	c
総合評価	A	A	B
重み付け		(理由)	
<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	<input type="checkbox"/> 市民の実感	この施策は、非常事態に備えるという性質上、平常時には市民に実感されにくいいため、客観指標総合評価を重視する。	

4 原因分析・今後の方向性

総合評価についてはB評価となっている。
 本市においては、市民が安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりを目指し、都市基盤整備や建築物の防災機能を強化してきた結果、客観指標総合評価は平成17年度から連続a評価という高い評価の維持につながっている。
 今後とも、木造建築物や袋路の多い京都のまちの特色に配慮しながら、地震等の大規模な自然災害に強いまちづくりを進めていく。

(参考) この施策実現のための主な事務事業

	事業名	18年度予算 (千円)*	19年度予算 (千円)*	18年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
1	区庁舎耐震改修推進	619,734	132,734	現状のまま継続等	文化市民局市民生活部政推進課
2	建築物の防災に対する事務	16,645	16,645	現状のまま継続等	都市計画局建築指導部指導課、審査課
3	建築物の耐震対策	29,782	37,832	充実	都市計画局建築指導部指導課
4	既成宅地防災工事資金融資	3,092	3,092	現状のまま継続等	都市計画局都市景観部開発指導課
5	西羽東師川改修	37,872	28,872	現状のまま継続等	建設局水と緑環境部河川課
6	西高瀬川改修	249,761	23,311	現状のまま継続等	建設局水と緑環境部河川課
7	新川改修	133,425	262,339	現状のまま継続等	建設局水と緑環境部河川課
8	善峰川改修	79,197	28,172	現状のまま継続等	建設局水と緑環境部河川課
9	岩倉川改修	150,162	28,172	現状のまま継続等	建設局水と緑環境部河川課
10	白川改修	373,872	132,872	現状のまま継続等	建設局水と緑環境部河川課
11	七瀬川改修	580,368	188,826	現状のまま継続等	建設局水と緑環境部河川課
12	西野山川改修	86,672	16,172	現状のまま継続等	建設局水と緑環境部河川課

	13	排水機場維持補修	305,010	268,410	現状のまま継続等	建設局水と緑環境部河川課
	14	幹線排水路改良	151,739	90,739	現状のまま継続等	建設局水と緑環境部河川課
	15	治水計画基本調査	16,533	0	現状のまま継続等	建設局水と緑環境部河川課
	16	旧安祥寺川改修	87,825	184,725	現状のまま継続等	建設局水と緑環境部河川課
	17	防火・防災普及啓発事業	109,738	109,738	現状のまま継続等	消防局 予防部, 安全救急部 市民安全課
	18	消防用設備等設置資金融資	2,409	2,409	現状のまま継続等	消防局予防部
	19	防災危機管理対策	919,844	916,074	充実	消防局防災危機管理室
	20	公共施設耐震診断調査	35,392	31,992	充実	消防局防災危機管理室
	21	消防水利整備	611,575	311,575	充実	消防局警防部消防救助課
(従)	22	「京（みやこ）の安心安全ネット総合プラン」の推進	10,028	0	効率化等による見直し	総合企画局プロジェクト推進室
(従)	23	農業基盤整備事業	73,597	77,325	現状のまま継続等	産業観光局農林振興室農業振興整備課
(従)	24	巨椋池農地防災対策	14,956	16,206	充実	産業観光局農林振興室農業振興整備課
(従)	25	土木工事の検査	84,907	77,058	現状のまま継続等	建設局管理部監理検査課
(従)	26	岩倉東公園整備	1,097,679	0	現状のまま継続等	建設局水と緑環境部緑政課
	合計		5,881,816	2,985,292		
	うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)		4,600,648 (1,281,167)	2,814,702 (170,589)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	1321	京都のまちの特色に配慮した災害に強いまちづくり
-----	------	-------------------------

指標名	公共施設耐震診断実施件数（件）
-----	-----------------

担当課	防災危機管理室	連絡先	212-6744
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明
公共施設の耐震改修や補強を計画的に実施するための基礎資料となる耐震診断を各年度に実施した件数

2 指標の意味
公共施設の耐震改修や補強を計画的に実施するための基礎資料となる耐震診断を各年度に実施した件数

3 算出方法・出典等
各年度における公共施設耐震診断の実施件数
出典：事業担当課調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	14	5	9件減少	5	中長期目標を達成するために、当該年度に実施を予定する公共施設耐震診断件数	100.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	166	20年度	98.2%	平成18年度までに163件実施
		根拠			
		京都市基本計画第2次推進プラン			

5 評価基準
単年度目標に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上100%未満
c：60%以上80%未満
d：40%以上60%未満
e：40%未満

6 基準説明
単年度目標値に対する達成度が100%以上をaとし、以下を4段階に基準設定した。

7 評価結果

17	18	19
a	a	a

指標名	防火水槽及び防火井戸整備数（基）
-----	------------------

担当課	警防計画課・消防救助課	連絡先	212-6722 212-6732
-----	-------------	-----	----------------------

1 指標の説明
整備した防火水槽及び防火井戸の数

2 指標の意味
断水時、震災時等でも安定した消火用水が供給できる水利の増加数を示す指標

3 算出方法・出典等
整備した防火水槽及び防火井戸の数
出典：事業担当課調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	15	16	1基増加	15	中長期目標を達成するために、当該年度に整備を予定する防火水槽及び防火井戸の数	106.7%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	225	30年度	20.4%	平成18年度までに46基整備
		根拠			
		京都市消防局震災消防水利整備計画			

5 評価基準
単年度目標に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上100%未満
c：60%以上80%未満
d：40%以上60%未満
e：40%未満

6 基準説明
単年度目標値に対する達成度が100%以上をaとし、以下を4段階に基準設定した。

7 評価結果

17	18	19
a	a	a

施策名	1321	京都のまちの特色に配慮した災害に強いまちづくり
-----	------	-------------------------

指標名	河川整備（％）
-----	---------

担当課	河川整備課	連絡先	222-3591
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明
本市が河川改修を実施している一級河川（11河川）の改修計画延長に対する改修済延長の割合

2 指標の意味 都市の水害に対する防災力を示す指標
3 算出方法・出典等 改修済延長÷改修計画延長×100

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	53.0	53.6	0.6ポイント増加	54.2	「第10次治水5箇年計画（平成19年度～平成23年度）」に掲載	98.9%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	56.4	23年度	95.0%	-

5 評価基準 単年度目標に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上100%未満
c：60%以上80%未満
d：40%以上60%未満
e：40%未満

6 基準説明 目標達成には、相当の努力を要するものの、目標値を上回ることが不可能ではないため、100%以上の達成をaとし、20%刻みで等間隔に基準を設定した。

7 評価結果

17	18	19
b	b	b

指標名	木造住宅耐震診断士派遣事業に基づく派遣件数（件）
-----	--------------------------

担当課	建築指導課	連絡先	222-3620
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明
本市が実施している木造住宅の耐震診断事業の利用件数の合計

2 指標の意味 市民が住まいの耐震性についてどの程度関心を持っているかを示す指標
3 算出方法・出典等 事業利用件数の総合計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	199	167	32件減	150	過去の実績件数に基づき最近の傾向も踏まえて設定した件数	111.3%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	-	-	-	-

5 評価基準 単年度目標値に対する達成度（％）
a：100以上
b：90以上100未満
c：80以上90未満
d：70以上80未満
e：60以上70未満

6 基準説明 派遣件数は毎年変動するものであるが、市民に対し最大限の利用を促すべきであることから、100%以上の達成を最高のaとし、以下10%刻みで設定した。

7 評価結果

17	18	19
a	a	a

施策名	1321	京都のまちの特色に配慮した災害に強いまちづくり
-----	------	-------------------------

指標名	(準) 10年確率対応下水道雨水整備率 (%)
-----	-------------------------

担当課	上下水道局計画課	連絡先	672-7839
-----	----------	-----	----------

1 指標の説明

事業認可区域面積に対する10年確率降雨対応雨水整備済区域面積の割合（浸水被害を解消し、より安全で安心な都市環境を実現するため、10年確率降雨（62mm/時の降雨）に対応した雨水整備を進めている。特に、常襲的に浸水被害が発生する地域においては雨水整備は急務である。）

2 指標の意味

浸水被害への下水道施設の対応力を示す指標

3 算出方法・出典等

10年確率降雨対応雨水整備済区域面積÷事業認可区域面積×100

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	8.8	11.9	3.1ポイント増	13.9	上下水道事業中期経営プラン	85.6%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	22.4	20年度	53.1%	上下水道事業中期経営プラン

備考	-
----	---

5 評価基準

単年度目標値と比較して
a: 目標値超過
b: 目標値どおり
c: 目標値未滿で改善度1/2以上
d: 目標値未滿で改善度1/2未滿
e: 現状維持

6 基準説明

目標値を上回る可能性もあるため、目標値以上を最高のaとし、目標値どおりであればb、目標値に達しなくても改善度が1/2以上であればc、1/2未滿であればd、現状維持であればeと設定した。

7 評価結果

17	18	19
b	c	c

指標名	(準) 緊急時における飲料水の確保日数 (日)
-----	-------------------------

担当課	上下水道局企画調整課	連絡先	672-7743
-----	------------	-----	----------

1 指標の説明

災害発生等緊急時における飲料水（1人当たり1日3リットル）の確保日数

2 指標の意味

災害に強い水道の構築状況を示す指標

3 算出方法・出典等

配水池等の容量÷(約150万人×3リットル/日)
出典：京都市防災水利構想

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	84.9	87.5	2.6日の増	87.5	上水道施設整備事業	100.0%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-				

備考	阪神大震災において神戸市内のほぼ全域で完全復旧を終えたのが70日後(神戸市水道局発行「阪神・淡路大震災 水道復旧の記録」より)とされている。
----	--

5 評価基準

平成14年度レベル（70日）の維持を目的として
a: 71日以上
b: 70日～57日
c: 56日～43日
d: 42日～29日
e: 28日以下

6 基準説明

飲料水については、京都市防災水利構想の中で必要水量の設定を1人1日3リットルを基準としている。また、「京都市地域防災計画」の中では水道施設復旧の目標値を震災発生時から28日としている。平成14年度は、70日分の必要水量を確保していたため、このレベルの維持を目標とした。目標を超える71日以上をa、「京都市地域防災計画」の目標値である28日以下をeとして、等間隔に基準を設定した。

7 評価結果

17	18	19
a	a	a